



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016-2017年度

# 広島北 ロータリークラブ週報

Rotary  
Club of Hiroshima North

2016年9月29日発行 Vol. 1487

国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム 氏  
国際ロータリーテーマ  
**ROTARY SERVING HUMANITY**  
人類に奉仕するロータリー

■会長 中山 昌実 ■幹事 岡部 知之  
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F  
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530  
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/  
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

## 本日の例会

2016年9月29日(木)  
第2286回

ロータリーソング	「それでこそロータリー」
来客紹介	親睦委員会
会長時間	広島北 RC 会長 中山昌実
幹事報告	
委員会報告	
同好会報告	
ニコニコ箱	ニコニコ委員会
卓話時間	「もっと〈ロータリーの友〉を知ろう」 公共イメージ常任委員長 粟屋 充博 会員

## 京都伏見RC会長挨拶



京都伏見RC 松田良信会長  
よりご挨拶を頂戴しました。

## 前回の例会

2016年9月15日(木) 第2285回

ロータリーソング	「手に手つないで」
来客紹介	親睦委員会
京都伏見 RC 紹介	姉妹クラブ友好特別委員会
会長挨拶	広島北 RC 会長 中山昌実
〃	京都伏見 RC 会長 松田良信 様
第28回姉妹クラブ提携継続調印式	
幹事報告	
委員会報告	
ニコニコ箱	ニコニコ委員会
卓話時間	「広島传统文化と観光について」 大聖院 座主 吉田 正裕 氏

## 第28回姉妹クラブ提携継続調印式

第28回姉妹クラブ  
提携継続調印式が  
滞りなく、行われま  
した。  
今年度も変わらぬ  
親交と友情の継続  
を確認いたしました。



## 会長挨拶

会長 中山 昌実

松田会長をはじめ京都伏見RCの皆様、ようこそ広島へお越しくださいました。昨年は「上賀茂神社」への正式参拝、鴨川の「鶴清」での懇親会と楽しい時を過ごさせていただき、ありがとうございます。  
本日は大聖院座主 吉田正裕 様を卓話にお迎えして「広島传统文化と観光について」という題目にてお話をいただきます。お楽しみください。  
例会後には、25年ぶりの広島カープの優勝で賑わう広島市内を京都伏見RCの皆様には昔懐かしい京都市電に乗っての観光。平和公園においては先日のオバマ大統領の記憶も新しいですが、慰霊碑への献花。  
そして新しくなった「かき船かなわ」での懇親会と予定しております。ご期待いただければと思います。  
姉妹クラブ締結から毎年交互に訪問し、28年を迎えました。当初締結時のメンバーから世代も変わったように感じます。これからもこの友好がまた次の世代へと引継、さらに深まっていくことを祈念しまして歓迎の挨拶とさせていただきます。



左から、京都伏見RC 原裕二幹事、松田良信会長、広島北RC中山会長、岡部幹事

## 幹事報告

幹事 岡部 知之

《お知らせ》

\* 次週22日(木)は祝日の為、例会はございません。次回例会は29日(木)です。

委員会報告

親睦委員会 樽本副委員長

\* 9月27日(火)に「みっちゃん総本店 地蔵通り店」で新会員歓迎懇親会を開催します。また、10月13日(木)は「秋の懇親例会および広島バイクルーズ」を実施します。

国際奉仕委員会 二井本委員長

\* 次週9月20日(火)18時30分より委員会を開催します。

社会奉仕委員会 石井会員

\* 9月22日(木・祝)にサニーピアデイキャンプを実施します。

二コニコ箱

発表：山下 江 会員

《ご来客出宝》

京都伏見RCご一同様★★★◇ 本日は一日お世話になります。広島陵北RC 久保弘睦様 昨日は広島陵北RCの創立26周年記念例会に中山会長・丸本副幹事のご出席を頂きありがとうございます。本日は、京都伏見RC様との調印式の見学に参りました。ご指導をお願い致します。

《自主出宝》

中山会員・三保会員・岡部会員・丸本会員・小林(孝)会員

京都伏見RCの皆様、本日は遠路お越し頂きありがとうございます。姉妹クラブ提携継続調印式も今回で28回目を迎えることができた事を心より感謝申し上げます。

山坂会員 京都伏見RCの皆さん、ようこそ！

東会員・越智会員 京都伏見RCの皆さん、ようこそお越し下さいました。本日はカープが優勝したばかりの広島でごゆっくりお楽しみ下さい。藤井会長ILek、青木次年度幹事、来年は京都に伺いますので、よろしく願います。

杉町会員・本田会員・松田会員 本日の卓話楽しみにしております。吉田正裕様ありがとうございます。

山坂会員 吉田正裕さん、お誕生日おめでとうございます。卓話も楽しみにしています。

本田会員◇ 吉田様、ようこそ広島北RCへお越し頂き、誠にありがとうございます。卓話よろしくお願い致します。又、お誕生日誠にありがとうございます。

山下(正)会員・吉永会員 先日、カープが25年振りの優勝を決めた時、広島工業野球部の後輩の新井選手が5回宙に舞いました。最初は遠慮していましたが、胴上げされた時はとてもうれしそうでしたし、あの涙に感動しました。新井君ありがとう！！

山下(江)会員 カープ25年振りの優勝おめでとう！先日、某フィットネスクラブのロカールームで裸の野村前監督に会い、「選手達をここまで育ててくれてありがとう」と言いました。

丸本会員 今月で早いもので入会8年になりました。今後とも、公私に渡り宜しくお願いします。

畑会員 先日は、妻の誕生日に素敵な花を贈っていただき、ありがとうございました。

中嶋会員 急に上京することになりました。途中で退席させていただきます。

《職業二コニコ》

山坂会員 9月9日福岡県福津市に中古車センターハルコムスクエア福津をオープンしました。福岡県4店目の出店です。よろしくお願い致します。

山下(正)会員・上河内会員 ハルコム福津店オープンおめでとうございます。益々のご発展をお祈り申し上げます。

杉町会員・岡部会員・越智会員・吉永会員・松田会員・上田会員・小林(直)会員・森会員・浦会員

ハルコム福津店オープンおめでとうございます。益々のご発展をお祈り申し上げます。

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

当日計 56,000円 累計 657,000円

京都伏見RCエクスカージョン&懇親会報告



広電千田町車庫を訪問



平和記念公園では京都伏見RC 松田良信会長と当クラブ中山会長が代表で献花を行いました。



「かなわ」で行った懇親会は大盛り上がりでした。

※その他のお写真はHPで公開中

卓話時間

『広島伝統文化と観光について』

大聖院  
座主 吉田 正裕 氏



皆さん、こんにちは。  
今日は広島北RCの卓話の講師として、お呼びをいただきまして誠にありがとうございます。また今日は

は、京都伏見RCとの提携継続調印式という大変素晴らしい例会に、お招きをいただきましてありがとうございます。

伏見といいますと、私のイメージは、お酒と伏見稲荷大社でございます。少し私が、お酒の匂いがするのかなと。また私どもの本山が京都の仁和寺でございます、その京都との繋がり、また宮島の厳島神社も平清盛とか、京都との深い関わりがございますので、そういうことも含めて、今日の講師として呼ばれたのかなというふうに思っております。

伏見といいますと伏見稲荷さんなんでございますけど、京都という所は、やはり古い伝統がずいぶん残っておりますけど、今日は広島の伝統文化というふうにいただいたんですけど、広島はやはり昭和20年の原爆でほとんどの神社、またお寺等が被爆を受けまして、ほとんど建て替えた神社、お寺でございますし、その伝統文化というのも、途中で途絶えたものが随分ございます。

最近、随分復活したのもございますけど、京都の三大祭りに比べますと、広島にも三大祭りというのがございます。山内君、分かりますか。

山内「とうかさんと、えびす講、管絃祭。」  
残念です。広島の三大祭りは、とうかさんと、えびす講と、すみよしさん(住吉祭)です。宮島の厳島神社の管絃祭は別物でございますけど。その三大祭りというのも、やはり被爆のときに一時途絶えましたけど、現在残っておりますけど、その一つのとうかさんとというのが伏見稲荷と同じ伏見稲荷大明神をおまつりしている、ここはお寺でございます。

もともと稲荷さんをおまつりしている社というのは、伏見稲荷を本社として、全国にたぶん3万ぐらいあるんだろうと思うんです。その中には大きな神社もあれば、お寺もあつたり、またちよつとした祠もあつたりするんだろうと思うんですけど、なぜ神社にもなり、お寺にもなったかといいますと、これは宗教の歴史の中で一時、神仏習合して、神様と仏様が一緒に祀られたときがありました。

信仰というのは、もともと自然崇拝から起こっているわけですが、この自然崇拝、今年も熊本で大きな地震があつたり、昨日は台湾のほうの台風で大変な被害が出たり、桜島が噴火したり、北海道や東北のほうで大雨が降つたりと、本当にいろんな所で災害が起こっておりますが、今では地震がありますとマグニチュード何、震源地はどこで深さがどれぐらいだというふうに分かりますし、山が噴火してもこれは何々噴火であるとか、また雨の降る前には今までに経験をしたことがないぐらいの雨が降るだろうとか、雷も今までに経験していないような雷があつたりとか、後での報告が、予報ができるわけでありまして、昔はやはり土地が揺れますと、これは土地の神様が怒っているんじゃないか、山が噴火すると山の神様が怒っているのではないか、また大雨が降ると天の神様、雷が鳴るとやはり同じように天の神様が怒っているのではないか、それを鎮めるために、お供え物をしたり、お供えをしたり、さんげをしたり、そういったことによって、自然に対して私たちは崇拝をしていた。それがもともとの

始まりなんだろうと思うんですけど。

その後インドで仏教というものが生まれて、そしてそれがインドで、ここ日本に入ってきました。仏教というのは仏像をまつり、そしてお釈迦様が教えになった教えというものをお経に残し、そしてそれを伝えるサンガ、僧侶というものがあつて、これが仏・法・僧(ぶつぽうそう)という三宝ということで、聖徳太子の十七条の憲法の中に、第二条に三宝をあつて敬えというのがありますけど、その三宝というのは仏・法・僧なんです。

ですから、仏があり、教えがあり、それを伝える人がいる。これが正しく伝わるとよしいわけですけど、そこに法というものが間違つた法であつたり、法がなくなると何になりますか。仏・法・僧から法を取ると、「物騒」になるんです。ですから以前、オウム真理教とか大変物騒な集団がおりましたけど、それは正しい教え、法というものがなかったから、それは物騒な集団になったわけでありまして、仏教というものが日本に入ってきたときに、よその国ですと、ほとんど新しい宗教が入ると、前の宗法を全部のけてしまつて、そして新しい宗教がそこへ広がっていくわけなんですけど、日本というのは前にあつた神道というもの、それに仏教が入ってきたときに、それをうまく融合して、もともとあつた神様と新しく入ってきた仏教というものを一緒にまつるようになったんです。これを神仏習合というんですけど。

そして、その根本の教えが本地垂迹説(ほんじすいじゃくせつ)といつて、この神様は、もともとのインドの仏様ではこれであろうといつて、それぞれの神様に仏様を与えて一緒にまつるようになったんです。

宮島の厳島神社、これも厳島大明神といわれておりますけど、そこには、表には神様をまつり、裏に本地堂というお堂を建てて、そこに十一面観音様をまつつて、そして一緒におまつりをしていた。そういう時代が平安のころから明治の最初、江戸時代の終わりまで、ずっと続いていたわけなんです。

ですから長い間、神様と仏様というのは一緒にまつられていたわけですけど、そこでずっと続いていけばよかつたんですけど、明治のときに廃仏毀釈、神仏分離令というのがあります。これは国家神道というものを立ちあげて、天皇と神様を一体化させて、そして対外的に対抗していこうといつて、国家神道を立てていく中で、仏教というのはもともとよその国から来た教えですから、仏教を排他して神様一体でいこうといつて、長くは第二次世界大戦が終わるぐらいまで、国家神道というのが続いたといわれておりますけど、そういう時代があつて神様と仏様が分かれてしまつたわけです。

分かれたときに廃仏毀釈の運動が起こつて、仏教的なものを壊していったり捨てていきましたよといつて動きが全国的に起こつたときに、神社は神社として残るところもあれば、お寺として残っていくところがあつて、そしてお稲荷さんをおまつりしていた神社も、神様をまつる神社と、お寺として残つていったところがあったわけでございます。

代表的なお寺でいいますと、名古屋のお稲荷さん、豊川稲荷です。あれは曹洞宗のお寺でございますけど、とか、岡山の最上稲荷さん、これも日蓮宗のお寺でありますし、広島の先ほど言いました三大祭りの一つのとうかさん、これもお稲荷さんをおまつりして、日蓮宗のお寺として今も続いている訳であります。「稲荷」という字を音読みして「とうか」といふふうに呼んで、「とうかさん」といふふうになつたわけ。これは、今は広島の三大祭りの一つとして6月の最初に行われておりますし、後の三大祭りのえびす講、胡子神社の大祭。えびす講というのは広島の人にとっては有名だと思つてんですけど、全国的に有名なのは暴走族が集まつて最後の解散式をしていたといつて、いつとき有名になつておりましたけど、そういう「えびす講」。そして、「すみよしさん」といふ、この三つが三大祭りとして、今、大きく復活をした祭りでございます。

本当に広島というのは昭和20年の原爆によりまして、歴史がそこで一瞬止まったような街になりましたので、京都のいろいろな伝統文化に比べますと歴史の浅いものがたくさんございますけど、その中でも宮島という所は厳島神社が創建されて、もう1400年。私どものお寺も、もう1200年たっております、厳島神社の別当職を務めていたお寺でございますけど、先ほども言いましたとおり、本山が仁和寺でございます。

京都の方は、仁和寺と言いますと御室桜だなということでよくご存じだと思いますけど、広島の方に聞くと仁和寺を「にんわじ」と読んだりとか、「にんなじ」と読める方がなかなかなくて、昔は『徒然草』の「仁和寺にある法師」とか、そういったものが教科書に載っておりますので、仁和寺と言ってもご存じの方も多かったんですけど、最近、教科書からも外れましたので、小学生に「仁和寺、知ってる？」と聞いても全然知らない。金閣寺があって、龍安寺があって、その並びにあるんですよと言っても、そんな所にお寺があったんですかというぐらい知名度が低いんで少し残念ですが、知名度は低いんですけど、格式だけは、これはもう日本一なんです。

なぜ日本一かという、仁和寺というのは第58代の光孝天皇が発願されて、第59代の宇多天皇が初代の住職になられたお寺なんです。天皇が住職になったお寺という、神社もそうだと思いますけど、というお寺は、仁和寺しかないんですね。もう筆頭の、仁和寺という、皇室関係の方が住職をしたお寺は門跡寺院というんですけど、筆頭の門跡寺院で、第30世の小松宮彰仁親王まで、ずっと皇室関係の方が住職をされて、2代目からはほとんど親王の方がされているわけなんですけど、そういう格式のあるお寺で、京都御所とかに全国のお寺さんが集まりますと、筆頭の上座に座るのが仁和寺のご門跡ということで、そういう格式はあるんですけど人気がないということで、京都の方に少し盛り上げていただいたらうれしいかなというふうに思っております。

そういうことで、京都との深い関わりもありますし、その仁和寺の第20世の門跡、任助法親王という方が宮島に来られて、大聖院に10年おられましたので、大聖院のことを厳島御室というふうに言うわけで、京都の、先ほど御室桜の御室という話をしましたけど、仁和寺のある所が御室という地でございます、これもお坊さんが住む所を「室」というんですけど、皇室関係の方が住んでいるので、それに「御」を付けて「御室」という字になって。

昔はオムロンという会社もそこにありましたので、立石電機がオムロンという社名に変わったりしておりますけど、そういう御室との関わりもあるわけで、宮島では今、8月に玉取祭という、海の中にやぐらを組んで宝珠を取る行事が残っておりますけど、これもその任助法親王が仁和寺の延年祭という祭りを宮島に持ってきて、そして今、行われているのが玉取祭という行事になっておりますし、神能という、4月16日か3日間、厳島神社で能の奉納がございまして。

これも、宮島では昔、厳島合戦といいまして、陶晴賢と毛利輝元が戦いをして、毛利が勝って中国地方の大きな大名になっていく、その中で大きな戦いがあったわけでございますけど、そのとき陶晴賢が負けまして逃げていくときに、神社とお寺に火を放って逃げていったんですね。毛利はそのときに追わずに、その火を消して、そしてそれから追い詰めたという話があるんですけど。ただ宮島の聖なる地を血で汚したということで、それをまず塩できれいに清めて、そしてその後、そのおわびとして京から観世大夫とかを呼んで、神能を神様にささげるのを始めたのが今も続いている、そういう行事になっております。

ですから宮島というのは、そういう意味で京都とも深い関わりがあるのかなと。もともと厳島神社を創建して今の社殿にしたのは平清盛でありますし、平清盛は高野山の塔に登ったときに、たぶん弘法大師であろう方からお告げを受けて、今、厳島神社がずいぶん荒廃していると、これを復興すると世に並ぶ者がい

ないぐらい栄華を極めるであろうという、そういうお話をいただいて、次の年に、安芸の国主になったときに今の社殿を造営したと。そのときに平家一門が納めたのが、今、国宝になっている平家納経なんです。

神社とお寺が一緒になっていたから、そこに十一面観音という観音様をおまつりしていたから、神社に対して写経して奉納して。今ですと、神社にお経を上げたり、お経を納めたり、写経するということ不思議に思われると思いますけど、その当時、神社でそういう仏様がお祀られてあり、そしてそこに僧侶が行って神前読経という法要をして、そのときには、平清盛のときには1,000人のお坊さんを集めて千僧供養したという、そういった歴史も残っておりますけど、そういった行事をされた清盛さんとも深い関わりのあるのが宮島かなと思っております。

観光ということでいいますと、毎年、伏見稲荷さんには、原爆ドームも宮島も負けているところがございまして、トリップアドバイザーの外国人に人気の日本の観光スポットということで、伏見稲荷さんは4年ぐらいですか、5年ぐらいですか、連続1位でございます。2位が広島平和記念公園、3位が宮島なんです。ちょっと自慢させていただきますと、大聖院も19位に入っております。ありがとうございます。

弥山が24位に入っております、ベスト20の中に京都は6個、広島は3つ入っております。これは東京と同じ数なんです。ベスト30でいいますと、京都は8つ、広島は4つということで、やはり京都の半分ぐらいの数ではございますけど、外国人には大変人気のあるスポットであります。

これから平和公園のほうに皆さん、行かれるんだろうと思うんですけど、平和公園には「平和の灯」という火がともっております。今日少し、皆さんにお寺の写真集を持ってまいりましたが、20ページのところに「きえずの火」というのがございます。これは弘法大師が1200年前に修業した残り火を、消さずに守っている火でございますけど、この火は、今、皆さんがこれから行かれる平和公園の「平和の灯」の、もと火の一つになった火でございます、広島の方もあまりご存じないのではないかと思いますけど、これは昭和39年8月1日に、今はなくなりましたが民社党系の、核兵器禁止平和建設国民会議という団体が全国の「宗教の火」と「産業の火」を集めて、それをもと火にして付けた火でございます。

東本願寺であったり西本願寺であったり、比叡山延暦寺であったり伊勢神宮であったり、そういう全国の12宗派の宗教の火と、あと八幡製鉄所の溶鉱炉とか、全国の産業の火、これを集めて、もと火にして点火したのが、この灯火でございます、核兵器が地球上から姿を消す日まで、燃やし続けようということで点火された火でありますので、地球上から核兵器がなくなったときには、あの平和の火は消える予定になっております。早くその日が来ればいいなというふうに願っているところでございます。

設計は、その当時の東京大学の助教授でありました丹下健三さんが設計をされておまして、両手の手首を合わせて、手のひらを大空に広げたような、そういう形で、その中央から「平和の灯」が灯っておりますので、そういった灯火であるということも見ていただければと思いますし、これは最近といいますか、1994年ぐらいにはアジア大会の聖火のときの、もと火としても使われたり、今は全国にいろいろな「平和の灯」として使われている火でございます。

そういったことで、広島県の伝統文化といっても本当に原爆でなくなってしまって、京都の伝統に比べますとずいぶん新しいものがございますけど、今いろいろと残っている。また宮島には、またそれぞれの伝統のものが残っているということをご紹介させていただき、最後に、今年は申(さる)年でございます。

猿は人間になりたかったらしいんですけど、3本の毛がなくて人間になれなかったそうなんです。その3本の「け」というのは、

善悪の見分けと、しつけと、情けでした。情けですね、色気ではなかったんです。この三つがなかったので人間になれなかったということでございます。

また、私たちは人間として生まれてきておりますけど、本当は仏として生まれてきて、みんな仏になることができるんですね。

ただ、私たちは三つの毒を持っておりまして、貪・瞋・癡(とんじんち)という、この三つを除けてやると、私たちは仏になることができます。皆さんも「私」という字を書いて、3本除けてみてください。「仏」になることができると思います。どうもありがとうございました。



■出席報告 出席委員会

2016年9月15日(木) 会員数 95名  
出席 80名 欠席 15名 (例会出席率 84%)  
来賓 1名 来客 33名  
9月1日例会 修正後出席率 100%

■来客紹介 親睦委員会

吉田 正裕 様(卓話者・広島RC)  
久保 弘睦 様(広島陵北)

■姉妹クラブ来広者ご紹介 姉妹クラブ友好特別委員会  
京都伏見RC

松田 良信 様	藤井 正大 様	人見 康裕 様
浅野 雄祐 様	青木 義照 様	西村 尚三 様
羽賀 一郎 様	本田 顕哲 様	原 裕二 様
木下 博之 様	藤谷 礼子 様	宮本 恵伸 様
辻 基一 様	徳本 正悟 様	副田 晃彦 様
前田久美子 様	三上 敦 様	西本 智陽 様
藤井真由美 様	木村 元彦 様	一瀬 倫 様
永井 剛 様	渡邊 忠司 様	吉村 将人 様
山本 章雄 様	鈴木 治一 様	布施 大策 様
原 憲男 様	池田 義信 様	松原 一郎 様
西脇 俊和 様	玉井 公詞 様	

■次回例会案内 2016年10月6日(木)

卓話 「おなかのがん」  
がん予防推進委員会 炭田正孝 会員  
食事 中華

サニーピアデイキャンプ報告

9月22日秋分の日、2016サニーピアデイキャンプ in 広島県中央森林公園が、社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会の共同事業として開催されました。デイキャンプには小児難病を経験した子どもと家族が22家族79名、



広島病院の医療関係者が10名、陽だまりの会スタッフが12名、当クラブからは13名の会員が参加してバーベキューやレクリエーションを行い、家族同士や医療関係者との交流を深めました。当日は雨が降ったり止んだりの生憎の天候でしたが、参加者やスタッフからは「来年も是非、実施しよう。」との声が上がっていました。



2016年9月23日付け 中国新聞朝刊に掲載

**難病の子どもら 日帰りキャンプ**  
本郷

小児がんなどの難病を経験した子どもや家族、医療関係者たちが22日、三原市本郷町、中央森林公園で日帰りキャンプをした。バーベキューやゲームをして交流を深めた。広島市や福山市などから103人が参加。

肉や野菜を頼りながら会話を楽しんだ。子どもたちは笑顔でボールを使ったゲームをしたり、駆け回ったりした。がんの子どもを守る会広島支部と広島北ロータリークラブでつくる実行委員会の主催。2泊3日で実施した2009年以来で、今回は参加者に家族も加わった。

実行委員長の小林正夫(広島大病院小児科)は「病気の子どもだけでなく親や兄弟もつらい思いをしている。家族同る場にした」と話した。(山本庸平)

ボールを回すゲームで楽しむキャンプの参加者